

## 台湾愛樹保育協會の概要

1 名 称	社団法人台灣愛樹保育協會(設立 2011.7.16) The Tree Conservation Society Of Taiwan
2 設立趣旨	(1) 現在、公的部門における樹木の保護は、総じて病虫害の防除を対象としており、予防に焦点を当てた努力が不足していることに鑑み、本協会は、日本から自然的保護技術を導入し、非薬学的方法により樹木の治療を行う。 (2) 台湾においては、古木の保育に関する知識が一貫して不足しており、国民は植樹だけに関心があって、古木の保護の意識がない。 (3) このため、各企業及び環境保全と保護に関心のある社団を結合して、この協会を設立した。 (4) この協会は、古木の保護を主たる目的とし、古木の健康診断制度を推進するとともに定期的に樹木及び自然的保護の觀念の普及啓発活動を実施し、公的部門、民間企業及び個人を結合して、古木がもっと良く手入れされ生長が促進されるような活動を展開することとする。
3 組 織	顧問 (法律、技術、行政)、榮譽会長、財務委員、會計士      会長：曾禎銳 会長一副会長 (行政、財務) — 執行長一副執行長—組 (健康診断、活動、會計、文宣、攝影、事務)
4 活動方針	(1) 樹木の健康診断の推進 古木の管理保護意識が欠如していることに鑑み、自然的保護技術を中心として、各学校及び公園の間で健康診断制度を創設し、これらの樹木管理担当部門の注意を喚起して樹木保護の目的の達成を図る。 (2) 街路樹の安全診断技術の普及推進 街路樹は、安全の確保を主とするものであるが、現在、管理当局においては樹木の保護技術が不足しており、多くの街路樹が台風や雨期の到来により危険木となって、容易に倒伏したり落枝したりする状況になっている。このため、日本と同じような街路樹診断のための協会を設立し、街路樹の診断技術を普及推進することにより、車両及び通行人の安全を図る。 (3) 小学生に対する樹木保護意識の啓発推進 個別の中、小学校を対象に樹木の自然保護の意識啓発の教育活動を実施する。現在の小学校課程においてはこのような教育が皆無であるため、貴重な古木を惜しむ気持ちが失われている。この教育活動により、自然愛護の目的の達成を図る。 (4) 全国的な街路樹植樹規則の制定推進 現在、街路樹に関する統括機関がないため、街路樹植栽の基準となる制度が制定されていない。樹木の健全かつ旺盛な生育のため、この基準の制定を図る。 (5) 樹木銀行の設立 建設行為により樹木の伐採や枝おろしが必要になり、樹木に危害を及ぼす場合にはそれを他に移植する業務を行う樹木銀行を設立する。 (6) 樹木の保護等関連機関に焦点を当てた教育及び研修の実施 (7) 会員による経常的な古木保護活動の実施

	<p>全省古木保護活動を展開し、活動を通じて社会の各階層における古木資源に対する認識の覚醒を図り、樹木愛護と自然保護の達成を図る。</p> <p>(8) 各社団との連携による樹木保護活動の展開</p>
5 事務所	<p>台中市中港路三段 84 巷 52 號</p> <p>TEL. 04-2358-2327 <a href="http://www.tcst.org.tw">http://www.tcst.org.tw</a></p>
6 会員数	<p>(1) 正会員 52 名</p> <p>(2) 栄誉会員 50 名</p>
7 備考	<p>(1) 会費収入</p> <p>①会費年額 1,000 元、学生会費 免除、栄誉会費（寄付）20,000 元</p> <p>(2) 個人或いは団体、農企業機構の寄付、補助或いは受託事業収入</p> <p>(3) 政府、機構からの補助金或いは受託金</p> <p>(4) 発行物の広告料</p> <p>(5) その他</p>